平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 東京テアトル株式会社 上場取引所 東
コード番号 9633 URL http://www.theatres.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 稔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 浦田 雅裕 TEL 03-3561-8325
四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日
配当支払開始予定日 ―
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,932	△9.8	29	△66.5	△246	―	△336	―
23年3月期第3四半期	14,336	△23.9	87	―	△183	―	△195	―

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 85百万円 (―%) 23年3月期第3四半期 △275百万円 (―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△4.26	―
23年3月期第3四半期	△2.48	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	32,895	12,180	37.0	154.00
23年3月期	33,347	12,351	37.0	156.16

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 12,156百万円 23年3月期 12,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	1.00	1.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
配当予想額については未定です。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,700	△2.5	250	△31.2	△150	―	△230	―	△2.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	80,130,000 株	23年3月期	80,130,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,191,954 株	23年3月期	1,190,464 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	78,939,042 株	23年3月期3Q	78,939,911 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外でありますが、この四半期開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報……4
（３）連結業績予想に関する定性的情報……5
２．サマリー情報（その他）に関する事項……5
３．四半期連結財務諸表……6
（１）四半期連結貸借対照表……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書……8
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間……8
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間……10
（３）継続企業の前提に関する注記……11
（４）株主資本等の金額に著しい変動があった場合の注記……11
（５）その他の注記事項……11

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（以下「当四半期」といいます。）におけるわが国の経済は、景気は緩やかな持ち直し傾向にありましたが、個人消費は横ばいで推移し、デフレ状況や失業率が高止まり傾向にあるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと当社グループは、通期連結業績において営業利益、経常利益、当期純利益を安定的継続的に拡大できる事業構造の実現を進めてまいりましたが、震災の影響、入居ビルの建替え等による事業所の閉鎖、不動産市況の悪化等により、当四半期の売上高は12,932百万円(前年同四半期比9.8%減)となり、営業利益は29百万円(前年同四半期比66.5%減)、経常損失は246百万円(前年同四半期は経常損失183百万円)、四半期純損失は336百万円(前年同四半期は四半期純損失195百万円)となりました。

セグメントごとの業績概況は以下のとおりであります。

<映像関連事業>

映画興行事業は、『ダンシング・チャップリン』『ブラック・スワン』『ゴーストライター』等のヒット作品があり、既存映画館ベースではほぼ前年並みとなりましたが、震災による影響、入居ビルの建替え、事業再構築のため、「シネリーブル千葉ニュータウン」「テアトルダイヤ」を含む５館を平成23年２月以降に閉館したことにより、前年同四半期の売上高を大幅に下回りました。

映画配給事業は、ヒット作品『一枚のハガキ』の配給収入が計上されたことに加え、『それいけ！アンパンマン　すくえ！ココリンと奇跡の星』がシリーズ史上歴代第２位の好成績を上げましたので、前年同四半期の売上高を上回りました。

広告事業は、事業再構築のため不採算事業から撤退いたしましたが、メインクライアントからの受注増等がありましたので、前年同四半期並みの売上高となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は2,795百万円（前年同四半期比20.6%減）となりましたが、不採算映画館の撤退効果や広告事業の利益率の向上などから営業利益は58百万円（前年同四半期は営業損失１百万円）となりました。

＜ホテル飲食関連事業＞

ホテル事業は、スモールラグジュアリーホテル「ホテル西洋 銀座」においては、宿泊・料飲部門ともに回復基調にありますが、震災の影響で外国人旅行客が大幅に減少した第１四半期をカバーするまでには至らず、また、ビジネスホテル「池袋ホテルテアトル」を入居ビルの建替えに伴い平成23年６月に閉館したことにより、前年同四半期の売上高を大幅に下回りました。

飲食事業は、当社直営飲食店においては、パーティー需要の減退により低調に推移いたしましたが、焼鳥専門店チェーン「串鳥」が既存店ベースで前年を上回るとともに平成23年８月に「新さっぽろ店」、同年10月に東京進出２店舗目となる「荻窪駅西口店」を出店したことにより、前年同四半期の売上高を上回りました。

以上の結果、ホテル飲食関連事業の売上高は5,025百万円（前年同四半期比6.9%減）、営業利益は16百万円(前年同四半期比61.5%減)となりました。

＜不動産関連事業＞

アセットマネジメント事業は、所有物件の賃料収入等が減少しましたので、前年同四半期の売上高を下回りました。

プロパティマネジメント事業は、賃貸商業施設の賃料収入やマンション管理受託収入の減少等により、前年同四半期の売上高を下回りました。

リニューアルマンション事業は、震災の影響によりマーケットが停滞し利益率が低下いたしましたが、前年度以上の販売件数を確保いたしましたので、売上高は前年同四半期を上回りました。

アセットソリューション事業は、物件の販売が堅調に進捗しましたので、前年同四半期の売上高を上回りました。

サービサー事業は、大口債権の回収が遅れたこと等により、前年同四半期の売上高を下回りました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は4,892百万円(前年同四半期比3.8%減)、営業利益は440百万円(前年同四半期比19.3%減)となりました。

＜レジャー関連事業＞

レジャーホテル事業は、レジャーホテル「ホテルバル」を平成22年９月に売却したことにより前年同四半期の売上高を大幅に下回りました。

レジャー関連事業は、以上の理由に加え前年度に小売事業から撤退したことにより、売上高は219百万円（前年同四半期比33.7%減）となりましたが、営業利益は4百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。

＜セグメントごとの売上高＞

セグメントの名称	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同四半期比増減(%)
映像関連事業	2,795	21.6	△20.6
ホテル飲食関連事業	5,025	38.9	△6.9
不動産関連事業	4,892	37.8	△3.8
レジャー関連事業	219	1.7	△33.7
計	12,932	100.0	△9.8

＜セグメントごとの営業利益＞

セグメントの名称	セグメント営業利益又は損失（△）(百万円)	前年同四半期比増減(百万円)
映像関連事業	58	60
ホテル飲食関連事業	16	△26
不動産関連事業	440	△105
レジャー関連事業	4	16
調整額（注）	△490	3
計	29	△54

（注）各セグメントに配分していない全社費用 481 百万円及びその他の調整額 9 百万円を含んでおります。

（２） 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

流動資産は、販売用不動産が増加したものの、現金及び預金等が減少したこと等により、前年度末と比較し 93 百万円減少し、6,553 百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産及び無形固定資産において減価償却が進んだことに加え、投資その他の資産において差入保証金の返還や投資有価証券の時価減少があったこと等により、前年度末と比較し 358 百万円減少し 26,341 百万円となりました。

以上の結果、当四半期末における資産の部は、前年度末と比較し 451 百万円減少し、32,895 百万円となりました。

（負債の部）

負債の部は、支払手形及び買掛金が増加したものの、未払金及び長期預り保証金、再評価に係る繰延税金負債の減少等により、前年度末と比較し 281 百万円減少し、20,714 百万円となりました。

（純資産の部）

純資産の部は、土地再評価差額金が増加したものの、四半期純損失の計上及び配当金の支払等により、前年度末と比較し 170 百万円減少し、12,180 百万円となりました。

（３） 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成 23 年 11 月 8 日発表の「平成 24 年３月期 第２四半期決算短信」の業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（追加情報）

法人税率の変更等による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成 23 年法律第 114 号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成 23 年法律第 117 号）が平成 23 年 12 月２日に公布され、平成 24 年４月１日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行なわれることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の 40.4%から、平成 24 年４月１日に開始する連結会計年度から平成 26 年４月１日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については 38.0%に、平成 27 年４月１日以後に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については 35.6%となります。

この税率変更により、「繰延税金資産」は 87 百万円減少し、「繰延税金負債」は 24 百万円減少し、「法人税等調整額」は 63 百万円増加しております。また、「再評価に係る繰延税金負債」は 255 百万円減少し、「土地評価差額金」は同額増加しております。

3．四半期連結財務諸表
（1）四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,539,452	2,240,258
受取手形及び売掛金	632,224	733,194
商品	47,404	57,889
販売用不動産	938,964	1,283,251
貯蔵品	28,453	34,380
短期貸付金	240	70
繰延税金資産	68,591	63,897
その他	2,488,088	2,278,041
貸倒引当金	△95,955	△137,322
流動資産合計	6,647,463	6,553,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,833,167	6,716,561
機械装置及び運搬具（純額）	181,808	161,769
工具、器具及び備品（純額）	226,537	217,036
土地	13,894,883	13,894,883
リース資産（純額）	56,902	53,446
建設仮勘定	36,610	18,000
有形固定資産合計	21,229,910	21,061,697
無形固定資産		
借地権	325,984	325,984
ソフトウエア	53,617	34,943
のれん	5,384	1,346
その他	18,910	18,802
無形固定資産合計	403,896	381,076
投資その他の資産		
投資有価証券	1,212,618	985,721
関係会社株式	141,308	221,267
長期貸付金	1,020	1,971
差入保証金	2,545,113	2,396,279
繰延税金資産	1,091,042	1,103,763
その他	128,540	239,107
貸倒引当金	△53,530	△48,964
投資その他の資産合計	5,066,113	4,899,146
固定資産合計	26,699,920	26,341,920
資産合計	33,347,383	32,895,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	724,983	911,761
短期借入金	550,000	451,000
1年内返済予定の長期借入金	4,718,663	4,652,936
1年内償還予定の社債	200,000	100,000
リース債務	16,677	19,130
未払金	487,234	353,755
未払法人税等	125,636	65,545
繰延税金負債	4,437	5,241
賞与引当金	96,000	69,134
災害損失引当金	36,985	8,708
その他	667,056	836,082
流動負債合計	7,627,675	7,473,295
固定負債		
社債	180,000	180,000
長期借入金	8,330,846	8,664,843
リース債務	41,908	36,263
長期未払金	29,103	24,468
長期預り保証金	1,728,908	1,595,883
繰延税金負債	242,787	181,944
再評価に係る繰延税金負債	2,153,751	1,898,113
退職給付引当金	472,177	481,489
役員退職慰労引当金	138,891	127,779
資産除去債務	49,774	50,740
固定負債合計	13,368,149	13,241,525
負債合計	20,995,824	20,714,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	1,771,164	1,179,921
自己株式	△236,802	△236,961
株主資本合計	9,824,649	9,233,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△159,401	△314,930
土地再評価差額金	2,982,365	3,238,003
為替換算調整勘定	△320,083	－
その他の包括利益累計額合計	2,502,880	2,923,072
少数株主持分	24,029	24,441
純資産合計	12,351,559	12,180,761
負債純資産合計	33,347,383	32,895,582

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
売上高	14,336,010	12,932,958
売上原価	10,474,674	9,298,468
売上総利益	3,861,335	3,634,490
販売費及び一般管理費		
役員報酬	210,815	196,114
人件費	2,060,446	1,994,870
賞与引当金繰入額	69,786	61,342
退職給付費用	36,309	46,933
賃借料	219,162	218,500
その他	1,177,014	1,087,279
販売費及び一般管理費合計	3,773,534	3,605,041
営業利益	87,800	29,449
営業外収益		
受取利息	2,650	4,873
受取配当金	39,497	28,723
匿名組合投資利益	58,961	―
協賛金収入	8,544	16,637
持分法による投資利益	12,689	3,570
その他	12,768	18,400
営業外収益合計	135,111	72,206
営業外費用		
支払利息	305,222	317,015
為替差損	42,720	29,580
出資金運用損	56,473	―
その他	1,925	1,102
営業外費用合計	406,341	347,698
経常損失（△）	△183,428	△246,043
特別利益		
固定資産売却益	11,007	―
投資有価証券売却益	21,939	―
受取解約違約金	11,647	17,125
受取補償金	―	12,825
受取和解金	―	59,936
特別利益合計	44,594	89,887

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
特別損失		
特別退職金	―	13,043
貸倒引当金繰入額	184,099	―
貸倒損失	309	―
関係会社株式売却損	―	53,434
固定資産除却損	11,620	32,744
減損損失	210,819	―
投資有価証券評価損	98	51,765
解約違約金	727	―
事業所閉鎖損失	―	17,765
災害による損失	―	2,294
退職給付会計基準変更時差異の処理額	17,913	―
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19,582	―
特別損失合計	445,170	171,048
税金等調整前四半期純損失（△）	△584,005	△327,204
法人税、住民税及び事業税	145,223	109,448
法人税等調整額	△535,518	△101,505
法人税等合計	△390,295	7,942
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△193,710	△335,146
少数株主利益	1,841	1,464
四半期純損失（△）	△195,551	△336,610

【四半期連結包括利益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△193,710	△335,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72,608	△155,529
土地再評価差額金	―	255,638
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,269	320,083
その他の包括利益合計	△81,878	420,192
四半期包括利益	△275,588	85,046
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△277,430	83,581
少数株主に係る四半期包括利益	1,841	1,464

（3） 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4） 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5） その他の注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第２四半期連結会計期間より、保有株式の一部を売却したため、㈱サーヴィンスカヤ西洋を持分法適用の範囲から除外しております。

(追加情報)

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号　平成21年12月４日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日)を適用しております。